

学校に通える幸せ

一年一組 川尻結萌

私は今まで、小学校も中学校も毎日当たり前のように通ってききました。小学校では勉強がなくて先生や友達と会うことができた。運動会や林間学校、修学旅行などの行事では、家ではできなかったこと、思い出ができました。中学生になってからは、新しい先生や友達との出会いがあったり、初めて部活動にも入って、毎日新しい経験ができてとても楽しいです。

しかし、インターネットで世界には色々な理由で学校に通えない子供が一億人以上いるという記事を見ました。私はそれを見て、とてもびっくりしました。三ヶ月間、色々な気持ちになりました。私が当たり前に通っている学校も世界から見ると当たり前ではないということに気がきて、調べました。

世界の中で、学校に行けない子供が多い地域は、アフリカ地域が多いそうです。そして、戦争がある地域でも、学校に行けない理由は、家の

仕事を手伝ったり、兄弟の世話をしているからです。水道が出ないところでは、飲み水を確保するため、遠くの池や川まで片道何時間もかかる場所を何回も往復して、家族のために水をくみに行きます。一日のうちほとんどどの時間が家事をしなければならいので、学校に通ったり、勉強をする時間がないかもしれません。貧しい国では、子供でも外で働かななくてはいけないか、たり、お金がなく、学校に行けない子供もいます。学校に通えない子供は、計算したり、字を讀むことができないのか、大人になっても生活に困ったり、仕事をもらなかりたりあるそうです。

日本では、法律ですべての国民は、等しく教育を受け、権利があり、親は、子供に教育を受けさせる義務があること、お父さんお母さんから聞きました。私が学校に行くと勉強できるのも、友達といっしょに楽しく過ごすことも、この法律があるからできています。というところが分かりました。そして、学校に

通えることや、勉強ができたことはとても幸
やかなことであって、当たり前のことではないと思
いました。

私には将来なりたい職業があります。また、
いくつかの夢があって、一つに決められていま
せん。ですが、どんな仕事を選んでも、いま
で勉強して来たことや、人との関わり方など、
学校で学んだことをや経験して来たたくさんの
ことを将来につなげていけば、大人になった
ときに役立つと思います。これから、学校

に通えることを当たり前に思わなくて、学校
でたくさんのことを経験して、その小さな役
に立てられる人になりたいです。

世界の中でまた学校に行く幸せを知らない
子供たちが、当たり前前に学校に行けるように
なるといいと思います。そして、勉強をする
喜びを知って、将来に夢をもてる子供たちが
増えるといいと思います。そのために、私も
自分ができることをこれから考えたいです。
いし、今の生活が当たり前ではないというこ

とを多くの人に知ってほしいです。